

令和2年度産地交付金の概要（国概算決定）

【資料4】

1 水田活用の直接支払交付金の概要

- ・ 水田活用の直接支払交付金は2年産の戦略作物の生産拡大等に対応できる額として、元年実績見込み対比+89億円（3,050億円）で概算決定
- ・ 飼料用米・米粉用米の支援の見直し（多収品種支援廃止、複数年契約支援新設）
- ・ 転換作物拡大加算及び高収益作物等拡大加算の運用を見直し
- ・ 水田農業高収益化推進助成の新設（高収益作物の導入、畑地化の取組に支援）
- ・ 新市場開拓用米（輸出用米）に対する支援（20,000円/10a）は継続
- ・ 麦、大豆、飼料用米等への全国一律の支援単価（戦略作物助成）は変更無し

2 産地交付金の運用見直し

（1）飼料用米、米粉用米の多収品種への支援の廃止及び複数年契約への支援の新設

- ・ 飼料用米及び米粉用米の多収品種に対する追加配分（12,000円/10a）が廃止され、実需者との複数年契約（3年以上に対する追加配分（12,000円/10a）を新設

（2）転換作物拡大加算の単価・算定方法・配分時期の見直し

- ・ 単 価：10,000円/10aから15,000円/10aに増額
- ・ 算定方法：地域農業再生協議会ごとにみて、主食用米が減少し、転換作物の面積が令和元年度の面積より増加した場合にその面積に応じて配分（対象年次と県単位の算定対象地域を見直し）
- ・ 配分時期：追加配分から前倒しし、拡大計画に基づき年度当初に配分

（3）高収益作物等拡大加算の単価・配分時期の見直し

- ・ 単 価：20,000円/10aから30,000円/10aに増額
- ・ 算定方法：地域農業再生協議会ごとにみて、主食用米が減少し、高収益作物等の面積が令和元年度の面積より増加した場合にその面積に応じて配分
- ・ 配分時期：追加配分から前倒しし、拡大計画に基づき年度当初に配分

（4）県枠の拡大

- ・ 県枠の割合をR元の1割以上から1.5割以上に拡大

（5）麦、大豆等の作付拡大に取り組む産地へ産地交付金をシフト

- ・ H29→R元における転換作物の増減の状況に応じ、R2の産地交付金の当初配分額を傾斜配分

※ 参考：当初配分額（新潟県） R元 20.2億円 ⇒ R2 18.2億円

県枠での支援設定概要（案）

1 県枠の考え方

- ① 国から県への当初配分額から、県枠の所要額を確保し（2割）、残額を地域に配分
- ② 非主食用米について需要のある品種、用途の生産と安定取引を推進するため、国の複数年契約の追加配分の対象とならない加工用米・新市場開拓用米について支援
- ③ 加工用米については県内実需との複数年契約の取組に対して充当した上で、残余が発生した場合に県外実需との複数年契約の取組へと充当
また、新市場開拓用米（輸出用米）については、エンドユーザーが国外であることから、契約先の輸出代行業者については、県内外で取扱いを区別しない
- ④ なお、県枠が不足した際には、各地域協議会の不用額を充当し支援単価を確保

2 令和2年度の支援内容について

取組内容	対象作物	考え方	支援単価
【新規】 複数年契約の取組	加工用米、 新市場開拓用米	実需に対し需要に応じた品種等を安定供給するため、 <u>実需と複数年契約を締結した取組</u> に対し支援 なお、 <u>加工用米については、県内実需との契約を優先的に支援</u>	12,000 円/10a
【継続】 多収性品種の複 数年契約の取組	加工用米、 新市場開拓用米、 米粉用米	米関連産業からの需要のある加工用米等について、多収性品種での所得確保が継続的な取組となるよう、複数年契約に対し支援 <u>注 令和元年度に契約締結したものを対象（R3までの経過措置）</u>	12,000 円/10a (R1：5,000 円/10a)

※ 国の予算成立まで変更の可能性があることに留意

産地交付金の県枠の見直しイメージ

単位：円/10a

	R1			→	R2		
	区分	多収性 品種	複数年 契約		区分	多収性 品種	複数年 契約
加工用米	県	12,000	5,000		県	—	12,000
新市場 開拓用米	県	12,000	5,000		県	—	12,000
米粉用米	県	12,000	5,000		県	—	12,000
	国	12,000			国	—	12,000
飼料用米	国	12,000	—		国	—	12,000

地域への配分について（案）

◆ 産地交付金の算定項目

	令和元年度	令和2年度
当初配分	① 前年の非主食用米等の作付面積シェア	① [継続]
	② 前年度の産地交付金配分額シェア	② [継続]
	③ 当年の低コスト等取組目標面積シェア	③ [廃止]
		[新設] 当年の麦・大豆・そば・高収益作物の作付面積の前年度からの増加面積
国留保分	④ 当年の非主食用米の取組面積シェア	④ [継続] 県枠に充当し残余が生じた場合、当年の非主食用米の取組面積シェア

◆ 新設項目

当年の麦・大豆・そば・高収益作物の作付面積の前年度からの増加面積に応じて10aあたり20,000円を配分（配分後に残余が生じた場合には、県枠への充当及び当年の非主食用米の取組面積シェアにより地域へ配分）

◆ 国配分額削減への対応

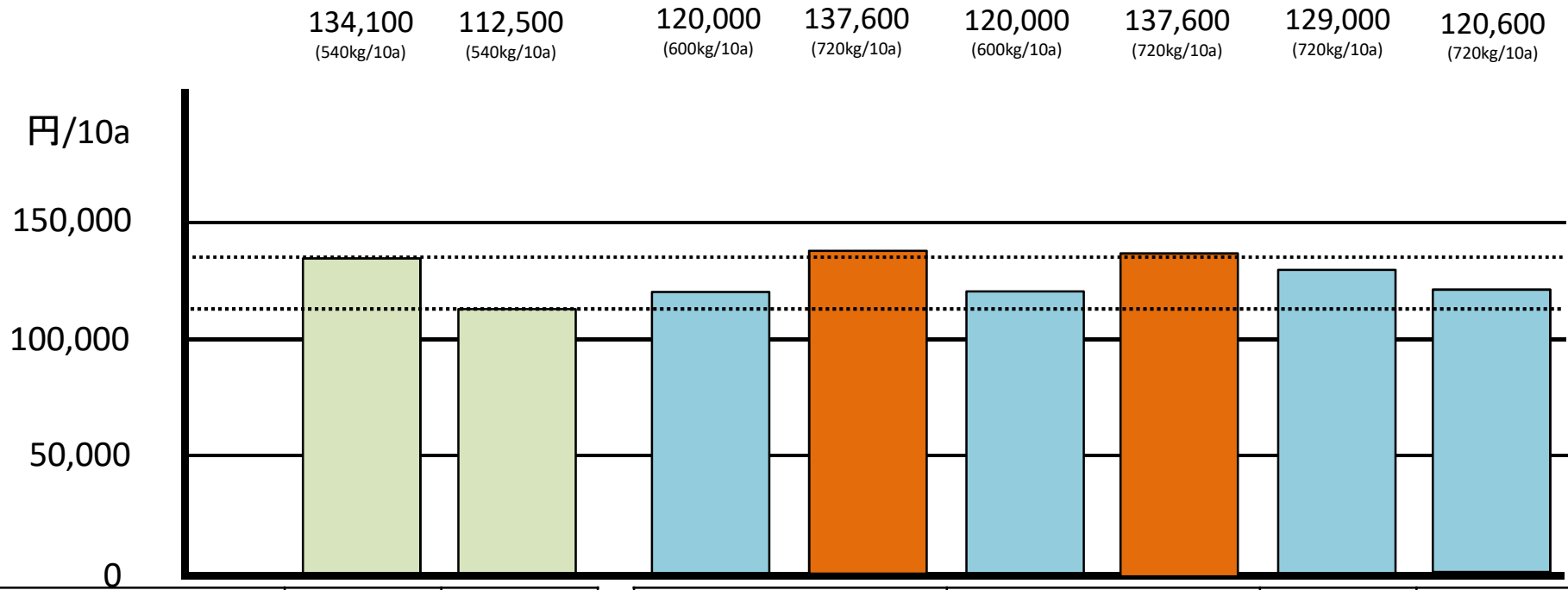
- 転換作物※拡大加算(10aあたり15,000円)
 - 高収益作物等※拡大加算(10aあたり30,000円) の積極的活用を推進
- ※ 転換作物：戦略作物、そば、なたね、新市場開拓用米、高収益作物（園芸作物）
 高収益作物等：高収益作物、新市場開拓用米、加工用米、飼料用とうもろこし

令和2年度の国から県への産地交付金の配分額の活用・配分方針（案）

		R元配分算定項目	R元配分額	R元見込み額	R2の取扱い（案）	R2配分額（案）
当初配分	県枠での用途設定	加工用米・新市場開拓用米・米粉用米の多収性品種の取組	1.5億円	2.5億円 (国留保充当)	国が多収品種への支援を廃止したため廃止	-
		加工用米・新市場開拓用米・米粉用米の多収性品種での複数年契約の取組	0.5億円	0.6億円 (国留保充当)	多収性品種で複数年契約を締結した取組のみ継続支援	1.4億円
		-	-	-	加工用米、新市場開拓用米の複数年契約の取組	2.2億円
		小計	2.0億円	3.1億円 (要単価調整)	小計	3.6億円
	地域への配分	前年の非主食用米等の作付面積シェア	5.5億円	5.5億円	【継続】	5.5億円
		前年度の当初産地交付金配分額シェア	7.7億円	7.7億円		7.7億円
		当年の低コスト等の取組目標面積シェア	5.0億円	5.0億円	【廃止】	-
		-	-	-	当年の麦・大豆・そば・高収益作物の作付面積の前年度からの増加面積に応じ配分（20,000円/10a）	1.4億円
		小計	18.2億円	18.2億円	小計	14.6億円
	計		20.2億円	21.3億円	計	18.2億円
国留保額の配分	県枠の所要額に充当し、残額を当年の非主食用米の取組面積シェアで地域に配分	1.1億円	- (県枠に充当)	加工用米、新市場開拓用米の複数年契約の取組	未定 (1億円程度：α)	
国加算分	高収益作物等拡大加算（追加配分）	0.1億円	0.1億円	転換作物拡大加算及び高収益作物等拡大加算	未定 (β)	
合計		21.4億円	21.4億円	合計	18.2+α+β 億円	

※ そば、なたね等の取組実績に応じた追加配分は、地域の取組状況に応じて国から別途配分

～複数年契約に取り組んだ場合の収入（イメージ）～



	コシヒカリ (一般)		こしいぶき		輸出用米		加工用米		米粉用米	飼料用米
	単収 (kg/10a)	単価 (円/60kg)	単収 (kg/10a)	単価 (円/60kg)	単収 (kg/10a)	単価 (円/60kg)	単収 (kg/10a)	単価 (円/60kg)	単収 (kg/10a)	単価 (円/60kg)
販売収入 (円/10a)	134,100	14,900	112,500	12,500	88,000	8,800	105,600	8,800	12,000	3,600
(戦略作物助成) (円/10a)	—	—	—	—	—	—	20,000	20,000	105,000	105,000
(産地交付金・国) (円/10a)	—	—	—	—	20,000	20,000	—	—	12,000	12,000
(産地交付金・県枠) (円/10a)	—	—	—	—	12,000	12,000	12,000	12,000	—	—
収入計 (円/10a)	134,100	14,900	112,500	12,500	120,000	12,000	137,600	120,000	129,000	120,600

※ 農産園芸課試算(支援額は国概算決定及び県枠設定案で算定)。産地交付金の地域での用途設定による加算あり。